

被災者の生活再建へ

士業7団体連絡協発足

岡山で設立式 一体的支援目指す

地震や豪雨が起きた際に被災者の生活再建を迅速、適切に支援するため、岡山弁護士会や県建築士会など県内の士業7団体による連携組織「県被災者支援士業連絡協議会」が14日、発足した。201

8年の西日本豪雨を教訓に、被災者が抱える幅広い課題の解決を目指すし、一体的に対応できる体制の整備を目指す。西日本豪雨で法律や建築、福祉など多岐にわたる分野に対応する

総合的な窓口の必要性を痛感した各団体が約2年前から準備を進めてきた。災害時にワンストップの相談会を開くほか、相互の講師派遣やメールリングリストでの情報共有、防災に関する啓発活動などを行う。

岡山市内で開かれた設立式には7団体の代表ら約20人が出席。会長に就任した塩飽繁樹・県建築士会会長は「被災者の相談は多様で、それぞれの専門家が連携して対応することが重要。地域の防災力向上にも貢献したい」と述べた。

他の構成団体は、県司法書士会、県土地家屋調査士会、県不動産鑑定士協会、県社会福祉士会、日本技術士会中国本部県支部。

(大橋洋平)

被災者支援士業連絡協議会設立式



被災者支援に向け、士業7団体で発足した協議会の設立式